

平成30年度 札幌自由が丘学園三和高等学校 学校評価結果

和寒町教育特区学校審議会条例第2条第1項第4号により、三和高等学校について、平成30年度の学校運営全般の状況について同校から提出された資料やスクーリングの視察等を通して下記のとおり評価を行いましたので結果を町長に報告します。

評価項目	評価の視点	評価	所見
1 各教科の状況	教育課程の適切な運用と状況 教科指導の状況 進路指導の状況	優れている	「北海道科」は、本校のカリキュラム編成の中核を担い、全学年での履修を通して北海道の歴史や文化、産業など、日本国内での北海道の役割をしっかりと捉えさせている。ややもすると見過ごしがちなふるさとの良さにも目を向け、北海道の将来について考えさせている点は大いに評価できる。また、教科指導においては、基礎学力の定着に力を注ぎ、「学習支援日」の設定を通して解らないことを質問したり、先生や友達と一緒に過ごす時間を大切にしている。その中で生徒は、苦手なレポートを仕上げたり、学ぶことや努力することの大切さを学んでいる。また進路指導においては、自分の夢や希望と適正を照らし合わせて熟考させた進路指導を展開している。今後は、自己を表現する体験と感動を通して、更なる自己肯定感を高める教育活動の展開に期待する。
2 生徒の状況	生徒指導等の状況 生徒の人格的発達の状況 安全管理の状況 要望等の状況	優れている	本校は、少人数ながら人とのふれ合いに溢れた学校づくりを実践している。多くの生徒が中学校生活に幻滅していたり、希望を抱いて進学したはずの高校でうまくいかなかったりした経験をしている中で、誰もが安心して楽しい学校生活を送られるように”居場所づくり”に力を入れているのはそのためである。スタートラインが異なっても、学年を越えた自治活動や自主活動を通して様々な人間関係を学び支援を通して自分らしさの発揮に努めている。その結果、生徒の表情や態度にも変化が見られ、保護者もその変化を肯定的に捉える声として寄せている点は指導の成果として大いに評価できる。今後は、生徒とのコミュニケーションを密にした人間教育の展開を期待する。
3 学校管理運営の状況	組織運営等の状況 教育目標と学校評価の状況 設置者と学校の取組状況	良い	学校評価等を通して本校の学校運営状況の成果と課題の透明化を図っている点は、大いに評価できる。しかし、札幌学習センターとフリースクールとの同居や入居しているビルの老朽化により様々な施設設備の不備不足が生じていることは否めない。世の中の加速的な進展やグローバル化により、生徒に求められる資質能力は、ICT整備や図書室の整備等、生徒の学びの環境を整えることによって育成され、教育目標達成の大きな要因ともなることから、中・長期的な展望の中でその確実な改善に期待する。
4 学校・家庭・地域の連携協力の状況	学校に関する情報公開の状況 学校と保護者・地域住民等との連携協力の状況	良い	和寒町は、豊富な教育資源に恵まれ、豊かな自然が子どもの心を開放し安らぎを与えてくれる。その有効活用を図る教育活動のみならず、三和高校後援会との協力関係を密にするために、保護者が和寒町の各種イベントに参加できる体制を構想し実現に向けて努力している点は評価できる。また、「和寒町教育特区学校審議会」を通じた情報公開は、学校の運営全般や生徒状況等を理解し、「後援会」はもとより地域全体で支援する情報源にもなっている。今後は、自己評価の公開や懸案であった保護者との合同行事や学習会の開催を通して、課題意識の共有化を図り、より一層の開かれた学校づくりに期待する。

5	学校設置による効果	学校が設置されたことによる経済効果	良い	和寒町のフィールドを生かした教育活動は、年々充実度を増し生徒の評価も高い。「北海道科」での学習を基盤としたスクーリングにおいては、対話と模倣、体験を通して実感のある教育活動として展開している点は大いに評価できる。同時に、経済効果としてもプラスに働いている。そして、一時であれ、生徒の心のより所や居場所として和寒が心に残っている点は、第二のふるさととして生徒の将来の支えとなっている点は間違いない。今後、面接指導や添削指導の充実とともに、保護者の和寒町の積極的なイベント参加や本校の和寒町における教育実践の積極的な発信に期待する。
6	町との連携協力の状況	町への現状報告及びセーフティネット対策の状況	良い	学校管理の運営状況については、学校評価や審議会等を通して情報を共有化し町との連携強化を図っている。そういう中で特に課題になっているのは、生徒数の確保である。株式会社立として、その確保は避けて通れず、口コミだけではなく、各中学校を回っての募集協力要請も重要なポイントである。そういう点で、保護者、教員、一般市民などと連携した「教育を考える集い」の開催は意義がある。今後、現在通っている生徒が安全安心して学ぶことができるようにセーフティネットを整備し不備不足の改善を図っていくことを期待する。

総合評価	良い
------	----

総合所見	三和高等学校評価基準に基づき総合的に評価を行った結果、「北海道科」の学習はもとより、教科指導において基礎学力の向上に向けて教師一丸となって取り組みを展開している。また生徒指導においても、心の居場所づくりを通して生徒一人ひとりに目を配ることのできる体制を整え実践している点は、「成長した生徒の姿」として大いに評価できる。加えて、和寒町のフィールドや人材を活用した体験活動は、和寒町民との交流を活発化させ、ひいては経済効果を高めることにつながっている点は今後に期待が持てる。今後、「広域通信制高等学校に対する点検調査結果」を踏まえた改善事項については、緊張感を持って速やかな対策とともにその改善を図り教育成果につなげていくことを期待する。
------	---

評価については、「模範的」、「優れている」、「良い」、「おおむね満足」、「要改善」の基準で評価しています。